



謹賀新年

「今年1年、よろしくお願いしまウス」



令和2年1月1日

発行人●阿南町公民館編集部

編集人●公民館報編集委員会

印刷所●飯田共同印刷株式会社

連絡●〒399-1511 東條58-1 TEL 22-2270 FAX 22-2287 E-mail:kyouiku@town.anan.nagano.jp

あなん

もくじ

- P1 表紙 遊歩道
- P2 クロカン駅伝・タイムレース
大会特集
- P3 大陸流転
- P4 文化の秋特集
- P5 よ!兄貴、私の趣味・自慢、
ぼくの夢
- P6・7 できごと・お知らせ
- P8 あの人この人・
うちのホープ・編集後記

遊歩道

新年明けましておめでとうございませう。令和二年の幕開けです。新元号「令和」の時代は災害からのスタートでした。日本各地で起きた台風被害は「明日は我が身」と気を引き締められる出来事でした。

近年、各地で起こる災害は、今後も日本列島を襲い続けると予想され、その被害は一層深刻さを増す可能性も心配されます。

一体、なぜ、こんなにも災害が起こるようになったのでしょうか。災害が多発しているのは日本だけではありません。世界中で頻発する異常気象を起因とする災害は、私たち人間が、より便利な人間主観の世界を築くために、長年の間自然を蔑ろにしてきた結果といえるでしょう。

アメリカ先住民民族インディアンは自分たちの行いの負債を子孫に負わせないために、常に7世代先を思い、行動するそうです。

子どもに、孫に、その先の世代に、どんな国を、どんな地球を残していくのか：環境問題に限ったことではありませんが、新年にあたり、自身の日常の行動を省み、意識を新たにする所存です。

わが町を盛り上げよう

阿南町クロカン駅伝。
タイムレース大会

11月16日(土)に、富草総合グラウンド及び周辺のクロカンコースを会場に2019「令和記念」阿南町クロカン駅伝・タイムレース大会が行われました。
今年には選手・実行委員合わせて130人を超える皆さんにご参加いただき誠にありがとうございました。
今年で2年目を迎えた大会でしたが、保育園児から大人まで様々な年齢の方に参加していただき、盛大に開催することができました。また、駅伝の部ではがんばってタスキをつなぐ選手の様子が感動し、選手同士のまとまりを感じられました。
人口減少が進む阿南町ですが、これからも、この大会のように様々な人が関わって笑顔になれるようなイベントや大会を開催し、阿南町を盛り上げていきます。

○駅伝の部 (5区間全長5.3km)

部門 ①小学生 ②地区 ③一般 ④女子

順位	部門	チーム名	記録
1位	③	阿南一中3年	20分20秒
2位	③	最賀ジャパン	20分28秒
3位	③	アトラス阿南空手道場	22分53秒
4位	③	阿南一中ウサカメヤング1年組	23分04秒
5位	②	チーム全和合	23分13秒
6位	④	阿南一中バレー部A	24分00秒
7位	①	富草小進撃ランナーズ	24分19秒23
8位	③	富草小教職員の風	24分19秒71
9位	④	デコボコ陸上教室女子部	24分41秒
10位	①	大下条小クロカンはばります	25分17秒
11位	①	富草小陸上教室ヤング	26分02秒
12位	①	大下条小3年ファイターズ	26分09秒
13位	④	ちょっと走り隊	26分55秒15
14位	④	阿南一中バレー部B	26分55秒54
15位	①	富草小4年化石コナン組	29分16秒
16位	④	富草小カニの姉妹	29分34秒

最終走者伴走

(土屋裕史、小林昌幸、松下幸太、城田陸斗、松下日菜向)

○タイムレースの部

保育園児の部 (400m)

順位	名前	所属	記録
1位	木下 恵 介	阿智村	1分44秒
2位	佐藤 亜 耶	大下条	1分53秒
3位	佐々木 匠 太	富草	1分54秒

小学1・2年生の部 (800m)

順位	名前	所属	記録
1位	小澤 汰 勇	富草	3分19秒
2位	村山 万里	富草	3分24秒
3位	城田 心 菜	大下条	3分25秒

小学3・4年生の部 (800m)

順位	名前	所属	記録
1位	松下 幸 太	富草	2分55秒
2位	野上 美 都	富草	3分40秒

小学5・6年生の部 (800m)

順位	名前	所属	記録
1位	佐藤 利 紗	富草	3分01秒

女子の部 (800m)

順位	名前	所属	記録
1位	城田 香 菜	北條	2分56秒

一般の部 (1,000m)

順位	名前	所属	記録
1位	ローガン・マイケル・フィリップス	ALT	3分13秒

富草グラウンドで行われるこの大会は、手作り感があって参加しやすいという良さがあります。大会後、ある児童が「楽しかった。また来年も出たい。」と言っていました。子どもたちがこういう思いになれたのも、運営してくださったみなさん、応援してくださったみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。みんなが笑顔になれるこのすてきな大会が、これからもずっと続いていくように応援したいと思います。



富草小進撃ランナーズの
木下監督のコメント



タイムレース小学1・2年生の部で元気にスタートを切る子どもたち

大陸流転

敗戦そして抑留8年 (18)

熊谷秋穂氏 著

老刘家のこと

大陸の長い寒い冬が訪れると、野も山も真っ白になる。

中国人が採り残した野菜、穀物の落ちこぼれ、どんなものでも食べられるものであれば収集した。

集めたものには、水とわずかな塩を加えれば、空腹を癒すことができる。誰も同じだ。現金は全部使い果たして、一銭もなくなった。

「面倒はみてやる。こんなところにいると全員餓死する」と誘いに来た中国人も何人かいた。しかし、母は頑として「たとえ一家が餓死しても中国人の世話にはならん」と言い続けた。

このままでは、一家の越冬は到底出来ないという危機感を、俺は感じ始めた。

「当たって砕けろだ」

近くの中国人集落の刘徳元さんの家に行って「働かせてくれ」と頼んでみた。

すると「明日から来てくれ」と、二つ返事で決まった。こんなうれ

しいことはない。

母に話すと、「気をつけんと駄目だに。危ないことをやっちゃあ駄目だに」と何回も言いながら許してくれた。妹と弟は「兄ちゃん行っちゃまうの。行っちゃあやあだ」と泣き出した。

「大丈夫だ。すぐ帰って来るからな」となだめて、住み込みに入った。何となく後髪を引かれる思いだった。

この仕事たるや、なかなかの重労働だった。五〇キロ向こうの遠い山に行って立木を伐採し、馬車で運搬させられたのだ。

起床は朝四時。三頭の馬を飼い、朝食を終えてから馬車の準備を整えて出発するのが五時半だ。厳しい冷え込み、凍りついた真っ白い大地、冴えた月は西方に傾いている。

馬の吐く息も真っ白だ。毛皮の防寒帽子も吐く息で真っ白く凍りついている。

背筋が寒い。じっとして馬車に乗っていると、冷たいのを通り越して足が痛くなる。

馬車から降りて少し歩く。すると暖かくなる。また馬車に乗ると、うつらうつらと寝てしまう。無性に寒いのはなぜだろう。体力がないせいだろうと自問自答する。

零下三〇度はあるだろうか。夜明けが近づくと一段と冷え込む。寒くてまた目が覚める。

また降りて歩く。パカ、パカ、パカ。三頭の馬のひづめの音が奇妙に合う。直進の道路だから横道にそれることは全くない。

主人が「寒くないか」と聞いてきたので、素直に「寒い」とだけ答えた。

目的地到着は九時頃。伐採に取り掛かる。二人引きの大鋸で切るのが、栄養失調の俺だから大変至難の仕事だった。しかし、頑張った。切り倒した木を切断して、馬車に積み込むのにも苦労した。

いつも太い重い方を必ず俺が担当されたのは参った。昼に焚き火で焼いて食べた饅頭の味が忘れない。これが何よりの楽しみだった。腹いっぱい食べて幸せを感じた。一時であった。弟や妹、母にも食べさせてやりたいなあーと思っ

た。木材を満載して家に着くのが五時頃となる。もう薄暗い。馬を飼

い終えて夕食にありつくのが七時頃になっていた。

奥さんはずいぶん若い、話し好きな人で、弟のこと、妹のこと、母のことなど聞かれた。「腹いっぱい食べなさい」と気を遣ってくれた。「寒くて慣れない仕事で疲れたのではないか」といたわりの言葉もかけてくれた。「明日も早いから、早く寝るように。馬は飼ってやるから」とかばってもくれた。

(中略)

老刘家で働いたのも長く感じたが、十日働いただけで、再度大八浪に帰ることになった。老刘家は親切にしてくれたし、食事も奥さんが気を遣ってくれたので、暖かくなるまではどこにも行かないつもりだったのに、急に「大八浪に帰ろう」と話が持ち上がり、俺も賛同して行動を共にすることになった。

老刘家では、仕事にも慣れたところだったので残念がっていた。「謝々、再見、再見」と言葉を交わして別れを惜しんだ。

労働対価として受け取ったのが三〇〇円くらいだったと記憶している。



和合太鼓「太和楽（たわら）」

町内の小・中学校や町内の芸能団体から太鼓演奏や吹奏楽、バンド、合唱など、今年初めて参加した2団体を含め、12団体が参加しました。参加された団体の皆さんは、日頃の練習の成果を披露し、会場を盛り上げました。

初参加も歓迎しますので、来年も多くの団体のご参加をお待ちしています。



大下条小学校4, 5, 6年生



阿南学園「青空会」

第33回 親と子がつどい
感性と創造のフェスティバル

11月9日

文化の秋！ 各種イベント開催



シルバークォーラス「しゃくなげ」

今年の交流会は阿南町の阿南文化会館で開催され、愛知県と長野県の県境に接している5町村（阿南町、天龍村、売木村、根羽村、豊根村）から昨年度より4団体多い13団体、およそ110人が参加しました。参加した団体の皆さんは合唱、民謡、ダンス、よさこいなどを披露しました。

阿南町からは地元開催ということもあり、「ふっとふっとグループ」「阿南ハー

モニカ同好会」「グリーンハーモニーあなん」「シルバークォーラス「しゃくなげ」から昨年より10人以上多い47人の皆さんが参加しました。

来年は根羽村で開催を予定しています。



グリーンハーモニーあなん

第38回 愛知・長野県境域
住民文化交流会

11月24日

私たちの趣味・自慢!

和合太鼓チーム 「太和楽(たわら)」

毎週金曜日の夜は、和合小学校の体育館に和太鼓の音が響き渡ります。練習しているのは、和合小児童の保護者を中心とした10数人です。

「とにかく楽しい!」と話すメンバーたち。練習風景を見せてもらおうと、真面目な顔つきでフォームを確認する人、腰をフリフリ満面の笑顔で叩く人…そして、傍らでは子どもたちが遊び回っていました。

ほぼ全員が太鼓未経験でスタートし、1年が過ぎました。週1回の練習をコツコツと積み重ね、リズムや体の使い方にも慣れてきたそうです。

既に、町内福祉施設の行事や「感性と創造のフェスティバル」などにも出演しています。

「発表の機会があるとモチベーションになります。町内のイベントなどにこれからも出演していきたいので、お声がけいただければ嬉しいです。」とのことでした。



よっ! 兄貴



大下条 千木
まさゆき
石田 将之さん

・あなたが今やっていることについて教えてください。

私は今、飯田市松尾にある「有限会社わくわく」で介護施設の機能訓練士として働いています。主な業務は身体機能向上のためのマッサージなど、体の調節や一人一人に合わせたマシントレーニングのプログラムを提供することです。「前より楽に歩けるようになったに」など、利用者様の喜ぶ姿が何よりうれしく、やりがいのある仕事です。これからも一人でも多くの方が元気に長生きができるように自分のできることを精一杯、がんばっていきたいと思います。

・これからやりたいことは何ですか。

これからやりたいことは、ダイエットです。社会人になってから太ってしまったので、これからまたやせていきたいなと思っています。

最近では、会社の人たちと仕事終わりにウォーキングをしたり運動をし始めたので、これを続けて、トレーニングを指導するのに説得力のある体にしていきたいと思います(笑)

ぼくの夢

新野小学校6年

伊東 琉星さん
りゅうせい



私の夢はサッカーの日本代表選手になることです。なぜならば、サッカーは、サッカーが大好きだからです。

毎日友達と練習しています。毎日学校でサッカーをやっています。練習をしてサッカー選手を目指しています。シュートやパス、ドリブルなど毎日友達と練習しています。

みなさんはサッカーが好きですか?そしてサッカーの試合を見るのが好きですか?ぼくはやるのも大好きだけど試合を見る方が好きです。

日本代表の試合がある時は必ず見ます。うまい人のプレーを見て練習しています。ぼくが目指している選手は、スアレスです。ウルグアイでかつやくしているすごい選手です。バルセロナでもかつやくしているすがたを見てすごいと思いました。

そしていつか、スアレス選手と代表選で試合をしたいです。

できごと

11・12月

旧道歩きツアー

11月16日



昨年から開催されている旧道歩きツアーを今年も和合地区の住民を対象に開催しました。今年には本村地区から田代地区に抜ける道「話の坂」を参加者13人で歩きました。

昔は通学路や生活道として使

われていた「話の坂」ですが、今でもしっかり道が残っており、田代の集落へ全員、無事に到着することができました。

また行程の途中にある熊野社、庚申様などを見学し、地域の歴史や文化にも知識を深めることができました。

富草公民館

芸能文化祭

11月17日



富草老人福祉センターで開催され、約130人の皆さまにご覧いただきました。迫力ある富草太鼓から始まり、富草保育園の

元気よく踊る姿、空手少年クラブによる空手演武などの7団体による様々な発表が行われ、会場を大いに盛り上げていただきました。

新野公民館 第17回芸能文化祭

12月1日



今年で17回目を迎えた芸能文化祭が新野ふれあい館ホールで開催されました。

当日は新野小学校や阿南第二中学校、各芸能団体による琴演奏やコーラス、バンド演奏などが行われ、大変賑やかな一日となりました。

また、芸能文化祭に合わせ、12

月1日〜7日まで農村文化伝承センターで展示会も開催され、16の個人、団体から合わせて139品の作品が集まりました。

阿南町勢激走!!

第4回みなみ信州駅伝・

ロードレース大会

12月1日

第4回みなみ信州駅伝・ロードレース大会は12月1日(日)、飯田市総合運動場周回特設コースで開催され、市町村対抗駅伝の部で2チーム、ロードレースの部で6人の選手が出場し、激走・快走しました。

市町村対抗駅伝の部では阿南町Aチームが9位、Bチームが10位と昨年よりも順位は下がってしまいましたが、両チームとも昨年よりタイムが早くなっており、非常にレベルの高い大会となりました。

ロードレースの部では小学4年生男子の部で松下幸太選手(富草小)が昨年に続き優勝し、すばらしい走りを見せてくれました。結果は次のとおりです。

●市町村対抗駅伝の部(敬称略)

9位 阿南町Aチーム

1区 城田 香菜

2区 勝又 颯河

3区 秦 圭佑

4区 松下 弘

5区 秦 大馳

6区 松下 健

10位 阿南町Bチーム

1区 高崎 ゆりか

2区 熊谷 想嵐

3区 松下 悠

4区 松下 日菜向

5区 小椋 正見

6区 玉沢 元太

●ロードレース 小学生の部

(2.1km)(敬称略)

○小学3年生 男子の部

10位 城田 溪斗(大下条)

○小学4年生 男子の部

優勝 松下 幸太(富草)

○小学5年生 男子の部

4位 林 朝日(富草)

6位 城田 陸斗(大下条)

○小学6年生 女子の部

7位 松葉 彩聖(大下条)

12位 佐藤 利紗(富草)



ロードレース小学4年生の部で優勝した松下選手(前列左から2人目)と小学生選手団の皆さん



○新野の歴史の展示会

とき 1月12日(日)～19日(日)

ところ 農村文化伝承センター

内容 新野の歴史にまつわる

展示を行います。

問合せ 新野公民館

電話24-2001

○世代間交流

囲碁ボール大会

とき 1月26日(日)

ところ 富草老人福祉センター

内容 囲碁ボールをやってみ

たい方、初めての方で

も大歓迎!ミックスチ

ームで戦います!

問合せ 富草公民館

電話22-2501

○第8回あなんカラオケ

歌謡大会

とき 2月23日(日)正午～

ところ 阿南文化会館

内容 町内在住(高校生以上)

または町内事業所に勤

務している方によるカ

ラオケ大会

参加費 2,000円

※エントリー開始

1月15日(水)～

※詳細は、1月15日配布予定

の区長文書・CATV・

防災無線・町ホームページ

ををご覧ください。

問合せ カラオケ歌謡大会

実行委員会事務局

電話22-2270

○第44回南部地区公民館

芸能交流会

とき 3月1日(日)

午前9時20分開演(予定)

ところ 売木村

内容 南部地区町村の舞踊・

詩吟・コーラスなどの

グループ・クラブ発表会

問合せ 阿南町公民館

電話22-2270



昨年の芸能交流会に参加した南舞?姫の皆さん

あの人 この人



富草 門原
上條 美香さん

民家から少し離れ、落ち葉の積もる山道をしばらく歩くと見えてくる、山付きの古びた一軒家。軒先には収穫した大豆の束がかけてある。引き戸を開けると玄関の土間に古いストーブ、その上に鍋を置き、暖をとる。水は山から引いている。

生まれも育ちも松本市。子どもの頃、家の裏手にあった田んぼが全て消え、今は道が拓かれ店舗が並ぶ。

教師を目指し大学を卒業後、オーストラリアの下田舎で、日本語と日本文化のインターンとしてホームステイした一年間が、今思えば自分の目指す方向性との出会いだった。

帰国後、なりたかった教師の道へ。長野市の小学校で二学年の担任とな

り三年間、飯田市のマインモス校で六年生を二度送り出し、教師を辞めた。大きな学校での三年間が、とにかく忙し過ぎて、元来、テストも通知表も必要ないでしようという自分にとって、この不自由感の中であと四十年、教員をやる自信がなかった。親の育児放棄、貧困層や外国人等、家庭に問題を抱える子どもたちが多かったことも印象深い。

教員時代当初より長く学んで来たのは、人と自然が共に豊かになる持続可能な農業と文化を築く。パーマカルチャー。バックパッカーでリュックを背負って一人旅もした。再び出た海外では、アジア、ヨーロッパ、オーストラリア各地を回り、旅の終わりに名古屋のとある寺へと辿り着き、一年をここで過ごす中での今につながる出会いがあった。その後インドやネパールで、夏は山小屋で二年を過ごし、もっと田舎できちんとした自給的な暮らしをしたい！と、南信州のここへ、先につながった出会いに導かれてやって来た。

地域に根ざし、地元の祭りで笛を吹き、道役に出て、消防団にも加入した。米を作り、野菜を育て、求められて時折、ご近所の子どもたちの家庭教師を引き受けたりしている。海外に出て初めて日本の今、生活環境や教育現場を窮屈に感じた。子どもはもっと自然の中でのびのびと学んで

欲しいな。新たな可能性に向かって目標を立てている美香さんにぜひ会いに来てください。

うちのホープ



富草 粟野
小林 正行さん、佳代里さんのお子さん
優夢ちゃん(8歳)(写真左)
翔汰郎くん(6歳)(写真右)

僕の名前は翔汰郎です。とうとうに、顔がそっくりって、みんなに言われて少しだけ嬉しいけど、大きくなって、とうとうみたいに髪の毛が薄くなるのだけは悲しいな。

僕には2歳上の優夢お姉ちゃんがいる。毎日のようにケンカしちゃうけど、優しい思いやりのあるお姉ちゃんが大好きです。お姉ちゃんは、大きくなったら、東京でお寿司屋さんになってビッグになるのが夢なんだよ。お寿司屋さんになった

ら、いっぱいとう巻を食べさせてもらうんだ。

僕は今、ゴジラやマリオのクッパが大好きだけど、それ以上に夢中になっていることが、とうとうといっしょにガンダムプラモデルを作ることなんだよ。小さい頃からブロックや積木で色々作ることが好きだったから、同じことをしながら作っていく事が楽しいし、ガンダムがカッコよくてたまらないんだ。僕も四月から一年生になります。落ちつきがなく、おっちょこちょいの僕だけど、カッコいい一年生になります。



某生命保険会社では、何年にも及ぶ保険の不正販売が発覚した。過大なノルマを課したことが大規模な不正を招いた原因の一つと指摘された。

営業の成果を上げるには、本部や上司から課されたノルマを必達とする組織風土。そうした組織は上意下達が徹底され、下からの反論を許さないこと。このような組織風土は内部からの変革は起こらない。外部から救いの手が必要なのだろうか？